

荒川区商連ニュース

No.234
2014.4.30

発行

荒川区商店街連合会
〒116-0002
荒川区荒川 2-1-5
セントラル荒川ビル 3階
TEL 03-3803-3003
FAX 03-3802-3646
発行人 小野塚 鷹一
本紙バックナンバー(213号以降)
<http://dp20142472.lolipop.jp/arakawa/arakawa01.html>

編集

(有)商店街情報センター
Eメール:
hkh-6216@mx.mesh.ne.jp

2ページ以降の主な内容

- 2=川の手荒川まつり&商業祭
- 3=川の手スプリングセール単会の取り組み、臨時対策プレミアム付きお買い物券
- 4=FROM区役所 第3回街なか商店塾結果報告会
- 5=商店主婦研修会報告
- 6~8=ニュース 広域商店街事業を北区商連と共同申請、おぐんざ商店街内子育て施設が常設館に

来場者7万2千人で賑わう 第28回 川の手荒川まつり &第35回商業祭



第28回川の手荒川まつり&第35回荒川区商業祭が4月29日、南千住の汐入公園及びその周辺で開催された。心配された天気も何とか曇り状態で持ち、約7万2千人の来場者が多彩な催し、ショッピング・飲食を楽しみ、情報にふれた。

内容は、荒川区と交流している22自治体の物産販売や観光PRなどの「ふるさと市」、「官公署コーナー」、「福祉チャリティーコーナー」、スポーツ・遊び、緑、国際交流、ダンスや音楽、空手、太鼓演奏、仮面ライダーショー等の「ステージイベント」、バザール、模擬店、我楽多市の「商業祭」など。



川の手荒川まつり

事務局、 区役所本庁舎に移転

区商連事務局は、5月19日(月)から区役所本庁舎6階産業振興課の一角に移転する(荒川区荒川2-2-3)。電話・FAX番号は従来通り。

<抽選会>

川の手スプリングセール(20商店会が参加)で進呈された抽選券(最高10万円の区内共通お買い物券)と商業祭会場で配られた「ラッキーくじ」(最高5万円の区内共通お買い物券)の2種類の抽選を連続で行った。ラッキーくじは当選してもその場にはいないともらえないこともあり、数百名がステージ会場に集まり、一喜一憂、盛り上がっていた。



<ステージショー> (川の手荒川まつり)

抽選会直前に開かれた、仮面ライダーショーにはこの日最多の観衆？
肩車やだっこの幼児も少なくなかった



<ふるさと市> (川の手荒川まつり)

荒川区の交流都市22自治体が参加、物産・観光などをアピールするふるさと市。米沢からは、名物の牛肉を使った串焼き(1本500円)、煮込み・玉こんにやく牛串(各300円)が毎回大人気で行列が絶えない



<我楽多市>

各商店会から提供していただいた商品や不要品などを1時間程度で完売。引き出物や香典返しカタログから選べる方式が主流となり、我楽多市への提供品は減少傾向



<バザール>

衣料、靴、日用雑貨、服飾雑貨、菓子、介護用品、自転車、チラシ寿司、和菓子など18店が参加



商業祭
現在は、川の手荒川まつりと併催している荒川区商業祭だが、1979(昭和54)年に、区商連青年部が中心となり、区役所前公園で初開催。区内商店街有志によるバザール(物販主体)、模擬店、区内商店街から提供された商品を激安で売る我楽多市などの商業イベント、そして交流都市や官公庁・各種団体の出展により、1日で数万人が集まる区内最大のイベントとなった。以後毎年継続、1986年からは、商業祭以外のイベントを川の手荒川まつりと

して同時開催、更に規模を拡大した。
会場は、南千住野球場、尾久の原公園、荒川遊園地、汐入公園の持ち回りとしている。
また今回は、来年3月の「奥の細道千住あらかわサミット」盛り上げのため、ゆかりの市区町村や団体が集まり、特産品等の販売やポスター掲示等によるPRも行われた。



<模擬店>

南千住仲通り商店会青年部、熊野前振組など8商店会・店舗が出店、いずれも好調のようだった

川の手 スプリングセール

平成26年度川の手荒川まつりスプリングセール（特売&共通抽選券進呈）は、荒川区支援のもと20商店会572店が参加した。期間は各会自由で3〜7日が多かった。

抽選券は、宝くじ方式（4月29日の商業祭で公開抽選）。景品はいずれも区内共通お買い物券で、特賞の10万円分から3等の3千円分まで当選本数は225本。



熊野前振組のポイントプレゼント及び破格市の行列(4月25日)

熊野前振組は、4月の金土セール（25〜26日）をスプリングセールにぶつけた。各店の特売のほか、先着100名に同商店街ポイントカードのポイントプレゼントのほか、25日は玉子、26日は大根1本50円の破格市。

◆ポイントサービスと特売

セール盛り上げのため、独自の景品を加えたり、イベントを実施する会もいくつか見られた。
スプリングセールの共通抽選券を利用し、独自の当選番号をつけて景品を出したのは、荒川銀座商和会振組（東京デイズニールランドバスポート20本、500円の共通お買い物券200本）や荒川仲町通り振組（500円の共通お買い物券）など。

◆ダブル宝くじ方式



荒川銀座商和会振組（町屋アベニュー）のチラシ

2014.6.1 プレミアム付きお買い物券 販売商店会と販売額

商店会名	販売予定額
三の輪銀座振組	400
間道商興会	100
南千住商友会	100
南千住仲通り商店会	200
コッ通り商店会	300
べるぼうと汐入振組	200
荒川仲町通り振組	300
荒川銀座商和会振組	500
旭電化通り商光会振組	200
尾久本町通り商店会	300
おぐぎんぎ振組	700
熊野前振組	500
東京女子医大通り宮前商店会	100
小台大通り振組	200
小台橋みずき通り商店会	100
小台本銀座振組	200
小台本銀座柳会	100
正庭商栄会	100
道灌山通り商和会	100
冠新道商興会	300
20 商店会	5,000

区商連では4月からの消費税増税に伴い、区の支援を得て「臨時対策プレミアム付き荒川区内共通お買い物券」を6月1日に発売する。発行総額は5千万円。プレミアム

は10%で、1人あたりの買い上げ限度は3セット3万円（1セットは500円券22枚）。販売するのは、川の手スプリングセールに参加した20商店会（表）。

臨時対策プレミアム付き荒川区内共通お買い物券

◆独自の宣伝

共通の宣伝として、区商連で参加店ポスターなどを配布したが、独自に折り込みチラシやポスターなどでPRする会も少なくなかった。
荒川仲町通り振組は、早稲田大学チンドン研究会の女子学生たちに、昔ながらのちんどん屋スタイルで元気に演奏しながら商店街を歩いても良かった。
小台本銀座振組は、春の商店街フ



小台本銀座振組のフラッグ

ラッグをスプリングセール川の手荒川まつり仕様とした。
冠新道商興会は、スプリングセールとしては初めて、独自の折り込みチラシを配布したという。

にぎわいコーディネーターが
変わりました

下町情緒豊かなあらかわの地域資源を活かし、街のにぎわい創出を支援するにぎわいコーディネーターの杉山健二氏に変わり、岡隆太氏が着任した。

〈自己紹介〉

「この4月から、にぎわいコーディネーターとなりました岡隆太です。これまで、WEB制作会社やマーケティング支援会社でシステムの開発に携わってまいりました。昨年4月より、中小企業診断士としてWEB制作支援やシステム導入を中心に補助金申請支援や商店街支援などを行っております。お困りのことがございましたら、気軽にお声かけいただければと思います。」



にぎわいコーディネーター
岡 隆太氏

第3回街なか商店塾 結果報告会

第3回街なか商店塾は、39店舗が参加し、57講座が開催された。街なか商店塾とは、個店の店主等が、自店を会場に商品やサービス等のミニ講座を開催し、商店街の活性化と集客につなげていく事業である。23区でも先進的な事例として注目が集まり、NHKテレビ「おはよう日本」の生放送や朝日新聞等でも報道された。

参加店のモチベーションも回を重ねるごとに増しており、第4回の開催に向けて活発な話し合いが行われた。結果報告会は、グループに分かれて参加店の感想やお客様の声などについて情報交換が行われた。

参加店からの意見・感想

参加店からは、「前回参加者からの口コミでお客が増加した」「リピーターの参加もあり、講座内容をアレンジしながら行った」「お客様から、次回の問い合わせがきた」「応募定員を超え、追加の講座を実施した」など、街なか商店塾が周知されてきたことを実感するとともに成果が見え始めた。一方、開催期間、客層などの見直しが必要であるなどの課題も見えてきた。今後、未参加の店舗にも声をかけて輪を広げていくなど、第4回開催に向けて前向きな結果報告会となった。

平成26年度
産業経済部の幹部職員等

- ・産業経済部長 石原 久
 - ・産業振興課長 吉野 豊喜(経営支援課)
 - ・産業振興課商業振興係 係長 佐藤 彰洋(経営支援課)
 - ・主任主事 神山 晃一
 - ・主任主事 鈴木 真美
 - ・主事 長野 耕平
 - ・経営支援課長 勝田 健一(東京都)
 - ・就労支援課長 前田 徳英(ハローワーク渋谷)
 - ・雇用政策監 釜井 広之(再任用)
 - ・観光振興課長 谷井 千絵
- ※ () 内は、前所属



しんきんキャッシュカードなら、
全国約7,600店舗、約19,900台のCD・ATMのご利用が手数料無料。
全国にネットワークを持つしんきんならではのサービスです。

ゼロネットサービス時間帯 平日 8:45~18:00 入金・出金

※本サービスの対象とならない信用金庫CD・ATMが一部ございます。

☺☺ Face to Face

荒川区しんきん協議会

- 朝日信用金庫 ●城北信用金庫 ●巣鴨信用金庫 ●瀧野川信用金庫 ●東京東信用金庫 (五十音順)

H24.4現在

商店主婦研修会報告

蒲鉾・竹輪手作り体験&小田原市商連役員との交流

区商連では3月25日神奈川県小田原市で商店主婦研修会を開催した(東商荒川支部共催)。

参加者は7商店会26名(三の輪銀座振組1名、南千住通り商店会5名、コッ通り商店会3名、荒川銀座商和会振組3名、小台橋みずき通り商店会8名、かんかん森商興会4名、冠新道商興会2名)のほか、区商連役員ら8名。

研修内容は①「鈴廣かまぼこの



手作り体験教室 かまぼこのテーマパーク的な鈴廣かまぼこの里で、かまぼこ・ちくわの手作り法を楽しみながら学んだ



小田原の商店街状況について説明を聞く参加者

里」でのかまぼこ・ちくわ手作り体験教室、②小田原市商店会連合会役員との交流会、③小田原錦通り商店街視察と小田原城見学。研修後は、錦通り商店街内の「海席 魚國」で夕食をとりながら懇親を深めた。

■小田原市の商業

小田原市中心部へは東京都心から約80キロ。人口約20万人、神奈川県西部の拠点都市。

小田原市商店会連合会には31商店会が加盟。多くの商店会は、店舗減少や後継者難などで事業運営も年々困難になっているという。

昨年3月には、中心市街地171ヘクタールについて活性化計画を作成、国の認定を受けている。

■錦通り商店街協同組合の概要

小田原駅東口から徒歩3分の中心的商店街。全長250m、加盟店約70店(物販35%、飲食28%、理美容15%、サービス7%、医療・金融各6%、その他3%。核店舗は09年開店のドンキホーテ)。来街者は1日約1万人。平日と土曜日は12~13時、日曜祝日は12~18時に歩行者天国。

バブル期以前は個人商店が大半を占めていたが、バブル期以降はテナントビル増加に伴い、個人商店が激減、チェーン店が増加。チェーン店を含めた加盟店の商店街事業への参画促進が大きな課題となっている。

主な事業としては、①道路整備、街路灯・防犯カメラの設置など来街者の安全・快適な歩行環境の確保、②地場の食材や工芸品などを販売す



小田原市中心部の錦通り商店街を視察

る小田原マルシェ(地元のみちづくり会社が協力)、③商店街隣接のポケットパークでのミニコンサートや猿回しなどのイベント、冬期のイルミネーションなど。

また、このポケットパークの木にひっかかっていた、うさぎないし犬のようなぬいぐるみを近所の店主が管理、営業時間中は木に戻し、その模様を撮影、フェイスブックで公開したところ話題になり、「ニッキー」という愛称までつけられた。

同商店会では、市の協力も得て着ぐるみや各種グッズを作成、「集客担当特別顧問」のマスコットとして、イベントなどにも参加してもらっている。

11月に実施を予定

課題は単会事業の充実

東京都広域支援型商店街事業を北区商連と共同申請へ

共通テーマは「子育て支援」

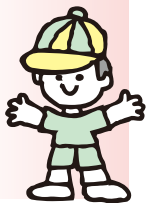
区商連は、北区商連と共に、平成26年度の東京都広域支援型商店街事業（以下、広域支援型事業と略）の指定を受けるため申請準備を始めた。5月中旬には杉山六郎副会長が北区商連役員と共に都の説明会に参加。5月中旬に申請書類を提出、6月中旬に都のヒアリングを受け、7月初旬には認定の有無が決定する予定。

共通テーマは「子育て支援」。申請が認められた場合は今年11月頃、荒川遊園、都電、サンパール荒川（予定）、参加各商店街などで実施する。

26年度の広域支援型事業担当役員である杉山副会長は、「全体的なイベントも行うが、基本は各商店街のにぎわいづくり、元気づくり。決定次第、各商店会に詳細を連絡する。昨年の反省も踏まえ、準備期間はなるべく長くとり、参加商店会との連絡も密にしたい」と言う。

広域支援型事業とは

「都内全域又は都内2以上の区市町村の区域にまたがる広域的な商店街振興事業に対し、必要な補助金を



交付することにより、広く都内商店街の振興を図り、もって中小商業の経営の安定と発展及び地域経済の活性化を図る」ことを目的とする事業。対象経費の全額を東京都が補助する。

対象は、①都内全域を対象とした商店街振興施策事業、②都内2以上の区市町村の区域で、かつ2以上の商店街連合会が連携して実施する商店街振興施策事業、③都内2以上の区市町村の区域で、かつ3以上の商店街等が連携して実施する商店街振興施策事業のいずれか。



台東区商連と共催した平成24年度広域支援型事業の一環として、各商店街で抽選会を実施（町屋アベニュー＝荒川銀座商和会振組での抽選風景）

区商連が過去に取り組んだ広域支援型事業

開催年月	共催団体	テーマ
平成23年1～2月	北区商連	「北区・荒川区ミュージックフェスティバル」
平成24年10～11月	台東区商連	「荒川&台東下町コミック」
平成25年10～11月	台東区商連	「あらかわ・たいとう観る・買う・食べる街」

商店街内子育て施設が常設館に

おぐぎんざ商店街会館内にあった、「子育て交流サロン」（荒川区社会福祉協議会が運営。毎週木曜日のみ開設）が4月24日に移転、常設化された。移転先は同会館から数軒先、開設日は月曜～土曜の午前10時30分から午後4時30分（木曜は午前10時30分から午後12時）。おもちゃ図書館も併設された。

多くの親子の来街が期待できそうだ。

区内にある社協運営の子育て交流サロンは約15カ所。そのうち商店街内はおぐぎんざとべるぼうと汐入の2カ所。
* *
*おもちゃ図書館 おもちゃの貸し出しだけでなく、お母さん、ボランティアや子供たちとおもちゃを通じ

区振連・区商連 総会

荒川区商店街振興組合連合会（区振連）と荒川区商店街連合会（区商連）は6月24日（火）に通常総会を開催する。

区振連総会午後5時からセントラル荒川ビルで、区商連総会は午後6時15分からサンパール荒川で開催する。

て遊ぶことにより、「障がいのある子も、ない子も、仲良く、あそびを豊かに」という目的の施設。



週6日開設になったおぐぎんざの子育て交流サロン

お店に華やかなムードを演出する!!

製造卸

旗・幕 のれん 四季の装飾
Xマス用品・七夕飾り
提灯・ポリ造花

装飾造花

カマトシ

〒121-0064 足立区保木間1-8-15
TEL 3883-8146(代)

区振連では、4月16日(水)午後8時より荒川区役所産業経済部研修室で二世研修会を開催した。企画運営は区商連青年部が担当。

講師は昨年度に続き、(株)スプラム代表、中小企業診断士の竹内幸次氏。

テーマは、「消費税アップで伸びる個店の経営戦略」変化をチャンスと捉えて着実な販売革新」。

価格勝負はさけること、フェイスブックなどインターネットを活用した情報発信などについて具体的な説明があった。参加は約30名。

夢をかなえるパートナー

城北信用金庫

Johoku Shinkin



逸品研究会

区商連青年部では区の支援を受け、「逸品研究会」を運営している。4月末現在の会員は12名。会員は毎月2千円の会費を負担する。5月から毎月1回開催する予定。6人ずつ2グループに分け、各会員は自店以外の5店を回り、5月研究会で感想を述べ合う。6月以降は各店の逸品について評価しあったり、新商品開発や掘り起こしを進めることになっている。

区商連青年部だより 18

◆早朝清掃3年目に

区内各地域の商店街を毎月1回清掃する事業を2012年度から始めたが、14年度も継続することになった。1回の参加者数は平均7〜8人。

「最近では掃除をすることで終わりがちだったが、各地域の商店街を清掃してまわりながら、各商店街の生の姿を知り、終了後の朝食会などで情報交換を行い、商店街についての見識を深める、という原点に戻る」(田中伸幸部長)。

◆9月18日(総会)

区商連青年部は第37回通常総会を、6月18日(水)午後7時よりどんまい亭(冠新道商興会)で開催。議題は、13年度の事業・決算報告、14年度の事業計画・予算、役員選出。

◆14年度も逸品弁当事業

区商連青年部では、13年度に続き、14年度も「逸品弁当モニター」事業を予定している。複数の隣接した商店街有志で各店自慢の逸品を宣伝・販売する事業。13年度に南千住地区商店街で始めた。飲食店や食品関係10店舗から出品して自慢の逸品をセットにして、公募、抽選で選んだ「モニター」30名に無償で提供、好評を博した。経費約20万円は、区の補助も得て、区商連青年部で負担した。

◆14年度は南千住以外の地区での実施を予定、参加店を募集中。



昨年12月、モニター30名に引き渡された南千住逸品弁当(10店がそれぞれ1品ずつパックに詰めたものをセットにした)

「ポンテポルタ千住」開店！

影響は意外に少ない！？

4月18日、足立区・千住大橋駅前
に大型商業施設「ポンテポルタ千
住」がオープンした。

建物は5階建て。店舗面積は約1
万4千平米。店舗数は医院などを含
め44店。スーパードライフ（1
階）、ヤマダ電機（2～3階）、GU
（3階）などを核的店舗とし、飲
食、ファッション、雑貨、保険など
のサービス業などで、殆どがチェー
ン店。また、4階にはクリニックス
モール（3医院9科）、貸し農園も
ある。
営業時間は物販が10時～21時、飲
食11時～23時。

千住大橋駅前1帯12・4ヘクタ
ルは、大規模工場敷地の土地利用転
換を機に、（株）ニッピ、UR都市
機構、足立区などが共同でまちづく
りを進めてきた場所。ポンテポルタ
千住は、商業・医療・各種サービス
などの施設を集約する施設として企
画された。周辺は千住大橋さくら公
園などが整備され、建設中・建設予
定の大型マンションも多い。
心配される荒川区内への影響だ
が、南千住、町屋など距離的に近い
場所でも、気にする事業者は少ない
ようだ。理由としては、①川向こ



続々と大型マンションの建設が進む
千住大橋駅周辺



千住大橋駅前に開店した「ポンテポルタ千住」

う、しかも商業集積は少なかった、
ということでも心理的ハードルがあ
る、②隣接する南千住地区にはライ
フ南千住店があり、南千住地区への
ライフチラシにはポンテポルタ店
はずされている、③ヤマダ電機を除
くポンテポルタ千住の大半のテナン
トは荒川区内にもあり、めずらしさ
に欠けるなどが考えられる。

区外情報

介護事業に参入した商店会

北海道札幌市・発寒北振組

北海道札幌市西区に介護事業等を
始めた商店会があるという。

発寒（はつさむ）北商店街振興組
合で、昨年12月、コミュニティ施
設「にこびあ」を同商店街内に開設
した。

にこびあは、木造2階、延べ床面
積427平方メートルの建物。建設
費は、約1億5千万円。うち約1億
円は経済産業省の補助金。

にこびあという名称は、にこにこ
とみんながほほ笑みあえる「仲間
びあ」を見つけた場所」という意
味。公募で決定した。

事業は、①レンタルスペース（各
種会議・お茶会）の提供、②介護関
連サービス（通所介護サービス、デ
イサービス、リハビリ・マッサ
ジ・歩行訓練、給食サービス）、③

そのほか、くらしの安全サービス、
高齢者配食サービス。

同振組はほかにも、安心・安全で
楽しく生活が送れるための『街づく
り』を目指し、以下の通り多角的な
事業を展開している。

- ・ 流雪溝を整備
- ・ 地域の小・中学校や住民と協力し
ボランティア『ハツキタ倶楽部』に
よる花いっぱい運動
- ・ ふれあい夏祭り
- ・ スノーキャンドル
- ・ 町内対抗ママさんボウリング大会
- ・ 「こども100番」を発足させ見
守り活動
- ・ アトム通貨実行委員会札幌支部を
立ち上げアトム通貨事業を展開
- ・ 廃食油回収
- ・ フェイスブックなどホームページ
運営、地域の情報誌「ハツキタ通
信」の発行などの情報発信
- ・ 「春の商店街まつり」など、随
時、売り出しも実施



デイサービスやレストランなども開設している
「にこびあ」 同振組HPより

同商店街の介護関連サービスは始
まったばかりで、結果はまだわか
らないが、注目度は高く、行政や議
会の視察も少なくないという。